

【観覧料】 常設展示観覧料でご覧いただけます。一般:320円(250円)高大生:240円(190円)小中生:160円(120円)
※()内は、15名以上の団体割51科金。また、大津市内在住の65歳以上の方は、一般料金の半額。大津市内在住の障がい者・介護保険の要介護者及び要支援者の方とその介護者1名は無料(証明するものをご提示ください)。

【主 催】 大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館 【共 催】和邇文化センター・木戸市民センター

大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番2号 TEL.077-521-2100 http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/

鹿垣を描く村絵図 南比良村絵図 江戸時代 南比良共有財産管理会蔵

合併期間 わずか4年、 榎村(和邇中·今宿) の地籍図

> 榎村地引全図 明治9年(1876) 和邇今宿自治会蔵

幕府領の 村々·街道·河川· 山々を描いた絵図

大物·荒川·木戸·北船路村絵図 寛文9年(1669) 荒川共有地管理組合蔵

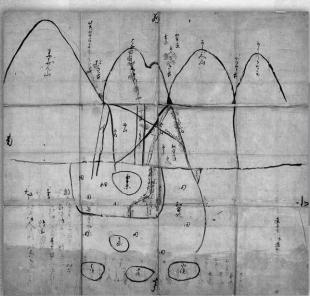
など多くの歴史情報が含まれ、明治時代の地租改正に際し

村社会や支配のあり方、共有地(山林等)の管理や境界争い

て高精度に作成された地籍図にも、当時の様々な土地利用

知られてはいません。特に、江戸時代に作られた村絵図は、 地域合わせて約600点以上も残されていることはあまり で、地域の景観の変遷をたどる上で欠かせない古地図が、各 ました。志賀各地域では、今も共有の古文書・歴史資料をは

じめとする文化財が大切に守り伝えられています。その中



村の全体像と

様子がよくわかる! 和邇中村絵図 元治元年(1864)

和邇中財産管理委員会蔵

相給(1ヶ村で

複数の領主)の

内湖と 山並みを 鮮やかに描く

> 南小松村絵図 江戸時代 南小松自治会蔵



会期中、和邇文化センターや木 戸市民センター(木戸支所)では、厳選した古地図を写真パネ ルにして展示します。

《お知らせ》

だきます。 風景をご覧いた

境界争いが 周囲の村々の

仲介によって 解決! 山境争論内済絵図 寛永6年(1629)

家並みや寺社など、現在

につながるかつての

域の集落域や山林・湖岸、街道や境界、さらには 賀地域に残る古地図を厳選して展示し、各地 の情報が記されています

本展では、合併10周年を記念して、それら志



[チラシ表] 左上: 鵜川山境争論裁許絵図写(享保元年(1716)・北小松自治会蔵)、右上: 比良庄絵図(滋賀県指定文化財・室町時代・北比良財産管理会蔵) 左中:大物村絵図(元文元年(1736)·大物共有財産管理組合蔵)、右中:小野村田畑山林絵図(江戸時代·小野財産区蔵)、下:魦漁村々絵図(江戸時代·北浜自治会蔵)



【企画展関連講座】 (会場・申込方法が異なります。ご注意下さい。)

- ■平成29年3月5日(日)14:00~ 場所:和邇文化センター (申込不要・無料・先着200名) 明治の古地図から見る村々の姿 一旧志賀町域を中心は
- ■平成29年3月11日(土)14:00~ 場所:大津市歴史博物館 (事前申込制・500円・有料・定員100名・応募多数の場合は抽選) 描かれた江戸時代の村社会(水本邦彦氏 京都府立大学・長浜バイオ大学名誉教授)